

京都大学	博士（地域研究）	氏名	泉 直亮
論文題目	土地を求めて移住した農牧民の社会・経済変容と地元住民との共存に関する研究 —タンザニア・ルクワ湖畔におけるスクマの事例—		
<p>（論文内容の要旨）</p> <p>タンザニアに居住する農牧民スクマは、従来はヴィクトリア湖に近い北部地域を本拠地としていたが、1970年代からその一部の人びとは、社会的・経済的にもっとも重要な財産であるウシの放牧地を求めて国内各地へと南下していった。本論文の目的は、タンザニア南西部のルクワ湖畔に移住したスクマの社会・経済の変容と地元住民との共存の実態をあきらかにすることである。</p> <p>第1章では、本研究の背景と目的を示した。アフリカでは近年、農村内部における経済格差の拡大が指摘されているが、タンザニアも例外ではない。ウシを中心として多くの家畜を所有する農牧民は、農村の経済発展において重要視されている一方で、家畜をあまりもたない農民との格差が大きくなっている。彼らはまた、広大な放牧地を必要とするため、国家による自然保護・観光振興政策としばしば衝突する。本研究が対象とするスクマは、移住した先で大規模な牧畜・農耕をおこなっており、こうした現代的な問題を典型的に体現している人びとである。</p> <p>第2章では、スクマ社会の概要、および調査地であるルクワ湖畔地域の概略を記述した。スクマが大規模な移住を開始するにいたった歴史的な経緯には、イギリス委任統治領政府が主導した農村開発と、独立後のタンザニア政府が実施した集住化政策が大きく影響していた。また、調査地のルクワ湖畔には、移住者であるスクマと先住者のワンダとが居住しているが、両者の社会を比較し、それぞれの特性を明らかにした。</p> <p>第3章では、ルクワ湖畔におけるスクマの主要な生産活動である牧畜と農耕を記述し、量的な分析をおこなった。スクマの牧畜は、ときには一世帯あたりのウシの所有頭数が4000頭を超えることもある大規模なものであるが、その家畜管理がどのような技術的、社会的なメカニズムで可能になっているのかを明らかにした。同時にスクマは、コメやトウモロコシの大規模な農耕をおこなっているが、その生産と消費、販売の実態を解明した。従来のスクマは自給的な農耕をおこない、家畜を重要な貯蓄手段としてきたが、近年では農耕と牧畜とともに商業的に展開していること、また、それはタンザニアにおける市場経済化への流れとも深くかかわっていることを論じた。</p> <p>第4章では、以上のようなスクマの大規模な生産活動の核となるのは、親族を中心に構成される個々の世帯であり、世帯の規模と生産の規模は比例していることを解明した。スクマの世帯主のなかには世帯サイズを意図的に縮小させるものがあり、そのような世帯が大規模な富豪世帯の形成を支えていた。大規模な世帯はまた、世帯主が既婚の息子を独立させずに長く世帯に留めることによって成立しているが、それは、世帯主と息子のあいだのさまざまな社会的交渉によって可能になっていた。</p> <p>第5章では、スクマと地元住民のワンダとの経済的な関係を記述した。スクマは、牧畜に必要な労働力は世帯の男性親族を中心として工面しているが、農耕に必要な労働力の大部分は、ワンダの日雇い労働者に依存していた。逆に、ワンダ世帯のおよそ半数は、スクマに雇</p>			

われることで収入を得ていた。移住者であるスクマは人口のうえでは少数派であり、地理的・政治的には「周縁」に位置する。しかし経済的には、そのスクマが「中央」を占める多数派のワンダを雇用するという逆転現象が起こっていた。

第6章では、スクマのウシ牧畜が危機に直面している状況を記述し、彼らとその窮状にどのように対応しているのかをあきらかにした。従来はウシにつよく依存してきたスクマは、現在は経済活動を多様化し、市場の存在を前提とした商業的な農耕や牧畜をおこなっている。一部のスクマは、コメやウシの販売で得た利益を、ホテル経営や運送業などに投資しはじめている。スクマはまた、移住によって牧畜を拡大できるフロンティアが消失しつつあると認識しており、地元住民のワンダと友好的な関係を構築する努力をしている。

終章である第7章では、現代タンザニア農村におけるスクマの経済的な戦略と社会的な役割について総合的に考察した。大規模なウシ牧畜を維持・拡大することが困難な状況において、スクマは、ウシや農作物の商業的な生産によって得た利益を、農業以外の商売に投資し、また、土地を購入することで財産の多様化もはかっていた。同時に彼らは、政治的なマジョリティである地元住民のワンダとの共存をはかっている。具体的には、農耕のために多くのワンダを雇用して、ワンダに現金やセーフティネットを提供することで「富者」としての社会的な責務をはたし、同時に、農耕を拡大して市場で多くの利益を得ていた。